

明 応

園だより

■ 第 9 号 ■
 平成 23 年
 12 月 2 日
 社会福祉法人明応保育園
 ホームページ
<http://myouo.or.jp>

保育目標

- ・からだの丈夫な子
- ・ありがとうと感謝する子
- ・自分で考え創り出す子

十二月の行事予定

- ・6日 サッカー教室
- ・8日 体操教室
- ・10日 成道会(じょうどうかい)
- ・11日 七五三(しちごさん)
- ・13日 のぼりこぼりコンサート
- ・14日 サッカー教室
- ・15日 体操教室
- ・20日 お餅つき
- ・21日 避難訓練
- ・23日 天皇誕生日
- ・27日 誕生会
- ・29日 特別保育

お釈迦さまありがとう

早いもので今年もあと一ヶ月になりました。東日本大震災、台風など、今年は災害の年でした。自然の前では人間の力など、到底及ばないことを知らされました。さて、来年はどんな年になるのでしょうか。

今年、「思いやり」に拘ってきましたが、保育の原点であり、私にとつては永遠のテーマです。それは、幼児期こそが、思いやりの心が育つ大事な時期だからです。「ありがとう」「お手伝い」「ほめる、励ます」この三つが、思いやりの心を育てる三原則です。どうか、お家でもこれらを実践してみてください。

十二月八日は、成道会(じょうどうかい)です。成道会とは、仏教を説かれたお釈迦(しやくか)さまのお悟りに、みんなが感謝をする行事です。王子の名は、シッダルタ。今から約二千六百年前、ヒマラヤに近い、インド北部のシヤカ族の王子として、お生まれになりました。母親のマーヤーさまは、王子を産んで七日目にお亡くなりになり、その後は、叔母さんに育てられました。王子は、やがて立派な青年になり、ヤソダラ姫と結婚をして、子どもにも恵まれて、何一つ不自由のない生活に思えました。しかし、王子が一步、お城から外へ出て見たものは、病気で苦しむ人、年離れた人、命あるものは、いつか必ず死んでいくという現実を、目の当たりにされました。またある時は、修行をしているバラモンの僧に出会いました。それからというもの、王子は、物思いにふける日が続き、自分も世の中の真理を見つけるために、修行僧になる決心をされ、密かにお城を出られました。この時、お釈迦さまは二十九歳でした。

バラモンの僧になられたお釈迦さまは、町や村を托鉢をして、有名な仙人について、苦行を行いました。しかし、断食や、息を止めたりする苦行は、次第に身体を弱らせて、やがて座ったままで、立ち上がれないほどに痩せてしまいました。それを見ていた、村娘のスジャータは、牛乳で炊いたお粥を、お釈迦さまに施しました。

それを食べて元気になられたお釈迦さまは、苦行は、身体を痛めつけるだけで、清らかな心にはなれず、物事を深く考えるために、苦行を止める決心をされました。

汚れた身体を、川で沐浴をされたお釈迦様は、大きな菩提樹の下に座って、深い思い想に入られました。カピラ城で過ごされた日々や、人々が苦しんで死んでいく姿など思い起こされました。なぜ、人は苦しむのか?やがて、物事には必ず原因と結果があり、この世のものは、すべて移り変わりいつかはなくなること、さらに、人々が苦しむ原因が、段々と解り始めて、悟りの時が近づいていました。

夜になりました。すると、悪魔が邪魔をしにきました。悪魔はめい想を止めさせようと、女性になつて誘惑したり、弓や刀で切りつけようとしたが、お釈迦さまの心は、少しも動きませんでした。やがて、悪魔は消え去り、お釈迦さまの心は、どこまでも広く深く、とても澄みきっていました。悪魔というのは、お釈迦さまの内なる煩惱と、苦悶されたのです。

東の空には金星が輝き、次第に赤く染まり始めた、十二月八日の夜明けでした。この時、お釈迦さまは三十五歳。真理に目覚めた人、つまり仏さまとなられました。

その後は、八十歳でお亡くなりになるまで、インド各地を歩かれ大勢の人々に、清らかな心を持ち、誰もが幸せになる教えを広められました。やがて、その教えは、アジアの国々に伝わり、日本へは、聖徳太子の頃、仏教として中国から伝わりました。

これまで、私達の平和で豊かな生活は、お釈迦さまの教えのおかげです。十日の成道会には、子ども達と一緒に、お釈迦さまのお悟りに、感謝したいと思います。(園長)

あおぐみ

冷たい北風の中、頬や手を真っ赤にしながらも、寒さに負けず身体を思いっきり動かし、ドッジボールを追っかけたり縄跳びを跳んだり、元気一杯です。

今年のカレンダーは、最後の一枚となつてしまいました。子ども達から、「ランドセル買ってもらった。」と、嬉しそうなお声が聞かれるようになり、就学時検診も終了し、小学校に向け期待でいっぱいです。

★残りの四ヶ月、色々な事にチャレンジして、充実した園生活が過(こ)せるよう成長を見守ってまいります。

きいぐみ

早いもので、今年もあと一ヶ月となりました。園庭の木々の葉っぱも落ち、冬の訪れを感じますね。外遊びが大好きな子ども達も、元気がいっぱい遊具や縄跳び・鉄棒などで楽し

そうに遊んでいます。今、縄跳び・逆上がり挑戦しています。少しずつコツをつかみ、出来る子が増えてきているので嬉しいですね。本格的な冬に備えて、丈夫な体づくりをしていきます。

★風邪をひきやすい時期になりましたので、手洗い、うがいをこまめにして、体調管理に気を付けていきますね。

ももぐみ

朝夕の冷え込みは、冬の訪れを感じます。早いもので、今年もあと一ヶ月となりました。四月頃を思つと、子ども達は園生活にも慣れて、友だちとままごと遊びを楽しんだり、ブロックで一緒に何かを考えて作ったり、自分の思いを伝えたりする姿が見られるようになってきました。しかし、まだおもちやの取り合いなどのトラブルも絶えません。一人ひとりの気持ちを受け止め、相手の気持ちにも気付けるように見守ってまいります。

また、最近は、鬼(おに)こや外を走り回って、寒さに負けないように遊んでいますよ。

★体調管理に気を付けて、手洗い、うがいに心掛けてまいります。

ばんだぐみ

早いもので、カレンダーも最後の一枚となりました。子ども達は園生活に慣れ、友だちの名前を呼んで誘いながら一緒に遊ぶ姿が見られるようになりました。

先月から始めたお当番は、自分の順番が来ると、どの子も誇らしげにやってくれます。そんな姿を見ていると、成長が感じられます。★これから寒くなってきますが、晴れた日には外遊びや散歩に出かけ、丈夫な体づくりをしてまいります。

りすぐみ

早いもので、今年のカレンダーも残り一枚となりました。四月は、九名でスタートしたりす組も今では十五名。月齢の大きい子が、小さい子のお世話をしようとする姿や、小さい子が友だちの遊びの中に加わっていく姿が見られるようになってきました。言葉がだんだん増えてきているので、これからが楽しみですね。

★寒くなり、鼻水、

咳が出る子が増えてきました。体調に気を配りながら、暖かい時間帯には戸外遊びをたくさん取り入れたいと思います。

